

## この1年を振り返って

第二病棟看護係長 松浦喜久江

4月には、まず固定チームナーシング導入という病棟の機能上大きな変化がありました。現在2チーム制で行っており何とか形作りはできましたが、固定チームとしてその機能を十分に発揮するにはまだ検討していかなければならない部分は多々ありこれからの課題です。この固定チームナーシング導入に対してはスタッフからさまざまな意見が出され、また普段の業務の他にも会議を持つなど皆に多くの協力をいただきました。今後もこの努力を無駄にしないためにも更によりよいチーム作りを目指していけると良いと考えています。又病院機能評価が11月に行われスタッフの皆も改めて業務やマニュアルを見直したり、普段行っている看護をそれぞれが振り返ってみたことと思います。改善する部分は多くありこの部分に対しても今後更にスタッフの協力が必要となってくると思われます。

この1年の病棟を振り返ると、病床稼働率も高く普段の業務も厳しい状況でしたが、各スタッフの協力の下、無事に大きな事故もなく過ごせたのではないかと考えています。スタッフそれぞれが、

この1年の中で辛く悲しい想いをしたこともありましたが、お互い助け合ったり協力し合い過ごした1年でした。お互いを思いやることのできるスタッフがいたからこそ過ごせた1年だったと感じています。このようなスタッフが存在する病棟ですからこれからもより良い病棟作りに協力しあっていけるのではないかと期待しています。

私自身を振り返れば、係長としてこの1年過ごしましたが、まだまだ科長や千田係長に頼りきりで情けない有様です。係長として自分がどうありたいか悩みながら1年が経ってしまったように思います。係長としてスタッフから信頼され、指導していけるようになるためには私自身まだまだ勉強不足であり、これから一段と勉強していかなければならないとつくづく感じております。病棟のスタッフはなんと言っても明るく、普段から私自身元気をもらっている気がします。その明るさをこれからの看護に生かし、すばらしい病棟になっていけるよう私自身もスタッフと協力していきたいと思います。